

④ 男女共同参画のための研修会

県内の男女共同参画推進員や行政担当者等を対象に、男女共同参画についての理解を深め、意識の底上げを図ることを目的とした研修会を開催しました。

(対象：市町村の男女共同参画推進員及び担当職員、男女共同参画に興味のある人)



長谷川幸介さん

日にち	内容 (テーマ)	講師	会場	参加人数
11月14日(水)	講義／『わがまま』と『わがまま』の間～男と女の幸せの羅針盤をつくる	長谷川幸介さん (茨城大学生涯学習教育研究センター准教授)	ぐんま男女共同参画センター	55人

(8) 活動支援事業 (ぐんま男女共同参画センター)

① 協働事業

センター利用団体等日頃から男女共同参画社会の形成に向けた活動を行っているグループ・団体と連携・協働し、以下の5事業を実施しました。

日にち	内容【協働団体】	講師	会場	参加人数
4月22日(日)	「紙粘土による手形づくり～子育てを一緒に楽しもう」 【和い輪いネットワーク】	高橋さゆりさん (和い輪いネットワーク代表)	ぐんま男女共同参画センター	19家族 53人
6月24日(日)	「パーソナルカラー・セミナー」 【群馬県母子寡婦福祉協議会】	小倉良子さん (カラーコーディネーター)	群馬県社会福祉総合センター	50人
2月5日(火)	講演会「家庭の中での男女共同参画～これからの自分さがし」 【群馬県地域婦人団体連合会】	神津はづきさん (女優)	群馬県生涯学習センター	249人
2月7日(木)	映画試写会「人生、いろいろ」 【群馬県女性団体連絡協議会】		ぐんま男女共同参画センター	82人
3月10日(日)	「子どもの救急に関する講演会」 【和い輪いネットワーク】	山田佳之さん (県立小児医療センター医師)	ぐんま男女共同参画センター	60人



手形づくりの様子



パーソナルカラー・セミナーの様子



神津はづきさん (講演会)

② 12市男女共同参画担当者情報交換会

県と市や12市間の男女共同参画に関する情報の共有を主な目的として情報交換会を開催しました。
 (対象：12市の男女共同参画担当者・県担当者、日にち：7月5日(木)・3月1日(金))

(9) 女性のチャレンジ支援事業(ぐんま男女共同参画センター)

① 横へのチャレンジ支援事業「理工系へ行こう！」

女性の進出が少ない理工系分野の進路選択の魅力について、女子高校生やそのその保護者に伝える取り組みを県内の大学や企業の協力を得て実施しました。(24年度対象校：県立渋川女子高校)

日にち	内容(テーマ)	講師	会場	参加人数
8月22日(水)	企業訪問と女性技術者による講演	IHIエアロスペース社員	(株)IHIエアロスペース富岡事業所	生徒 20人
10月4日(木)	講演会/工学女子の活躍最前線	板橋英之さん (群馬大学工学部長)	県立渋川女子高校	保護者と生徒 260人
11月6日(火)	講義と実験/渡良瀬の銅を調べよう			生徒 42人



企業訪問の様子



板橋英之さん



実験の様子

② 再チャレンジ支援事業「女性の再就職支援セミナー」

出産や介護などの理由で離職し、現在再就職を考えている女性を支援するセミナーを、高崎市と共催で開催しました。(参加者：延べ63人、会場：高崎市市民活動センターソシアス)

日にち	内容	講師	参加人数
9月19日(水)	講義/再チャレンジそれは新しいあなたの発見(自分の持ち味を知る・応募書類はこう作る)	飯塚俊男さん (キャリアコンサルタント)	32人
9月20日(木)	講義/再就職のためのビジネスマナー	清水由美さん (企業研修講師・ロコプロモーション代表)	31人
	講話/ハローワークマザーズコーナーの取り組み	井野晃宏さん (厚生労働省群馬労働局職業安定課係長)	

(10) 父親の子育て支援事業(ぐんま男女共同参画センター)

① イクメン養成塾講演会

男性の子育て参加や仕事と子育ての両立(ワーク・ライフ・バランス)を促進することを目的に、父親を楽しむコツなどを学ぶ講演会を県労働政策課との共催で開催しました。

(対象：父親、近い将来父親になる予定の男性等)

日にち	内容 (テーマ)	講師	会場	参加人数
2月10日(日)	講演会／父親が変われば社会が変わる～ファザーリングのすすめ	安藤哲也さん (NPO法人ファザーリングジャパン 代表)	ぐんま男女共同参画センター	48人

② 父と子の料理教室「ピザを作ろう」

男性の子育て参加や仕事と子育ての両立(ワーク・ライフ・バランス)を促進することを目的に、父と子で協力して本格的なピザ作りを行う料理教室を開催しました。



父と子の料理教室

(対象：小学生とその父親<男性保護者も可>)

日にち	内容	講師	会場	参加人数
7月28日(土)	プロが教える本格的なピザ作り(ピザ2種類)	阿部晴子さん (東日本栄養医薬専門学校管理栄養士)	東日本栄養医薬専門学校	16組 32人
2月23日(土)				15組 32人

(11) 調査事業「男女共同参画データブック」(ぐんま男女共同参画センター)

男女間における意識の偏り、格差や差別の現状などの把握を目的として、平成23年度にセンター利用団体との協働作業により「男女共同参画データブック」を作成しました。このデータブックでは、群馬県の政策・方針決定過程への女性の参画や、就業分野における男女協働参画など、9つの分野における統計データを男女共同参画の視点から収集しています。

今年度は、県ホームページやセンター図書コーナーへ配架し周知を図るとともに、講演会等において本県状況の説明の際に活用するなどしました。データの次回更新は平成25年度を予定しています。

(12) 情報収集と提供(ぐんま男女共同参画センター)

① センター通信の発行

センターで主催する講演会やセミナーの募集案内や開催結果等を紹介する広報紙を作成・発行しました。

- ・発行：年6回、各2500部
- ・規格：A4版4ページ、オールカラー
- ・配布先：市町村、地元自治会、センター登録団体、県女性団体連絡協議会加盟団体、県男女共同参画推進委員、センター運営委員、センター広報サポーター、各都道府県男女共同参画センター、県庁各所属、県立病院 ほか



センター通信24号

② エフエム放送でのスポットCM放送

男女共同参画の啓発に関するスポットCM（6種類）を、エフエム群馬において放送しました。

- ・期間：平成24年5月1日～平成25年3月31日
- ・回数：各20秒×50本

③ 資料の収集と提供

男女共同参画社会づくりの推進に必要な情報提供を行うため、資料（図書・行政資料・雑誌・映像資料等）を収集し、貸出しを行いました。（蔵書数：2045点）

④ 交流コーナー企画展示

センター1階の「交流コーナー」において、男女共同参画に関わる企画展示を適宜実施しました。

(13) 相談事業（ぐんま男女共同参画センター）

平成24年度から女性のための男女共同参画相談事業（とらいあんぐるん相談室）を開始し、女性が生活の中で抱える不安や悩み（家族間の役割や協力関係、女性の自立や能力発揮、性差に関する悩み等）について、専門の相談員が電話による相談を中心として対応しました。

- ・相談日・時間等（4月～8月） 火・木 9：30～12：00、13：00～15：00
水 9：30～12：00
（9月～3月） 火～木 9：00～12：00、13：00～16：00
金 9：00～12：00

- ・相談件数等 394件

(14) 貸室事業（ぐんま男女共同参画センター）

男女共同参画社会づくりに向けた活動を行う団体等に活動の場を提供しました。

- ・利用状況（延べ） 647団体、18,147人

(15) 周産期医療対策（保健予防課）

危険度の高い妊婦や新生児に対し高度な医療を提供する医療機関である周産期母子医療センターへの運営費補助事業のほか、一般産科医療機関、助産所を含めた関係医療機関間の連携を図るための周産期医療情報システムの運営を実施しました。また、低出生体重児などハイリスク新生児の安全な病院間搬送を確保するため整備した新生児搬送用保育器（県下10台）の運用管理の実施、早期新生児死亡事例を減少させることを目的とした医療従事者対象の新生児蘇生法研修会の開催（3回開催、59名受講）、周産期医療に関する調査などを行いました。

その他小児医療センターの協力の下、NICU（新生児集中治療管理室）等へ長期に入院していた児等を退院後、医療機関で一時受け入れる「在宅医療未熟児等一時受入事業」や、NICUに長期入院している児について、状態に応じた望ましい療養・療育環境への円滑な移行を図る「NICU入院児支援事業」を行いました。

(16) 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業（保健予防課）

子宮頸がん等（ヒブ、小児用肺炎球菌）予防ワクチンの接種を希望する県民の経済的負担の軽減のため、市町村が実施するこれらワクチン接種公費助成事業について、国の交付金を原資として群馬県子宮頸がん